

青森県立美術館 復興支援プロジェクト

3月11日に発生した東日本大震災。

この未曾有の大震災から1ヶ月が過ぎ、各地で復興へ向けた取り組みが活発化する中、被災した心のケアも重要視されています。

青森県立美術館では、皆様の「心の復興」の一翼を担うべく『青森県立美術館 復興支援プロジェクト』を実施します。

このプロジェクトが、青森県、並びに東北の復興へ活力となることを祈念いたします。

展覧会

●春のコレクション展「コレクションの力、青森の力」

4月9日（土）～6月12日（日）

会場：青森県立美術館展示室

県立美術館では、4月23日（土）から開催予定であった企画展「青木淳×杉戸洋 はっぱとはらっぱ」を震災の影響でやむなく中止としました。このため、4月9日から実施していた春のコレクション展「コレクションの力、青森の力」を拡充し、23日からは使用予定であった企画展示室も使用して、今までにない規模で常設展を展開するもので、当館自身が震災の影響から脱する第一歩として行う展覧会と位置付けております。

青森出身の主要な作家と同時代の県内外の作家たちを併せて展示しており、強い信念や個性的な魅力と、その影響の大きさを感じ、青森県、そして東北が持つ豊かな力を再確認いただける展示となっています。

●「伊藤二子と八戸」展

4月29日（金）～6月12日（日）

※公開制作 4月29日（金）～5月8日（日） 10:00 – 15:00

会場：コミュニティーギャラリー

1926年八戸市に生まれ、同市で暮らしてきた伊藤二子。

いかなる画壇にも所属することなく、一貫して、キャンバスにナイフのみを用いて「非具象」の絵画を制作。1972年以降、毎年のように新作での個展を開催し現在も精力的な活動を続けています。

本展覧会では、代表作を一挙に公開するとともに、大作に挑む現場も公開します。

被災地でもある八戸で、半世紀にわたり活動を続けてきた伊藤二子の、創作者としての強靱な生命力を、今多くの皆様にお伝えしたいと考えます。

演劇

●青森県立美術館野外特設ステージ 演劇「津軽」

4月30日（土）－5月5日（木） ※5/2 休演

会場：野外特設ステージ

2009年・金木芦野公園駅、2010年・東京都スペースゼロで上演し、大好評を得ていた演劇「津軽」の再演として当初より予定していましたが、この度の震災で公演の延期・中止が検討されました。しかしながら、「故郷はいつでもあなたを待っている」という太宰治原作「津軽」の持っているメッセージを伝えることが今必要であると考え公演続行を決定しました。
生きることの強さと、人は故郷の一部であることを渾身の思いを込めて伝えます。

また、4月29日（日）には、今回の震災で被災された県内外の方々を無料で招待した公演を行うとともに、春のコレクション展も無料で観覧いただきます。

複合イベント

●プレイタイム・カフェ

5月14日（土）－6月12日（日）

会場：地下1階ワークショップ前、キッズルーム他

カフェの他、震災復興を祈念した作品展示やオリジナルアートTシャツのチャリティー販売などを行います。

「プレイタイム＝遊び／祈りの時間」の中から生まれるエネルギーが復興の力へと繋がることを目指しています。

カフェゾーン：会場内に特設カフェをオープン。サイダー等の飲み物を無料でお楽しみいただけます。（会期中の土日祝日のみオープン・各日先着100名様まで）

展示&キッズゾーン：「希望の光」をテーマにした作品の展示。また、絵本や積み木等を準備しており、子供が自由に遊べるスペースとしても利用できます。

ワークショップ：八戸ポータルミュージアムはっちで、太陽の光で様々な色に変化する不思議な光の箱をつくるワークショップを実施します。完成した作品は八戸ポータルミュージアムはっちと青森県立美術館で展示します。

（日時：5月5日（木・祝） 終日
招聘アーティスト：松村泰三（美術家・八戸市出身）
参加料：無料）

青森県立美術館は、今後も復興に向けた取り組みを支援して参ります。